

武蔵野市第3期健康福祉総合計画 施策の体系図

基本施策	重点的取組み	横断・共通する施策	報告事項
支え合いの気持ちをつむぐ		「健康長寿のまち武蔵野」の推進	資料3 健康長寿のまち武蔵野推進月間～楽しく！元気に！長生き！～
		地域福祉活動の推進や障害者団体やボランティア団体などの活動支援の充実	
誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進	重点的取組み1 まちぐるみの支え合いを実現するための取組み	「食」に関するセルフマネジメントとライフステージに応じた支援	
		シニア支え合いポイント制度の拡充	資料1-3: 武蔵野市シニア支え合いポイント制度について(令和3年度～4年度)
		心のバリアフリー事業の推進	
		摂食嚥下支援体制の充実	
誰もが地域で安心して暮らしてつづけられる仕組みづくりの推進	重点的取組み2 生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化	市民の生命と健康を守る病院機能の維持・充実	
		在宅医療と介護連携の強化	資料1-4: 武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業
		在宅医療を支える後方支援病床の検討	
		保健・医療・介護・福祉関係者の連携による課題解決に向けた取組みの推進	
	重点的取組み3 安心して暮らしてつづけるための相談・支援体制の充実	相談支援体制の充実とネットワークの強化	資料2-1: 福祉総合相談窓口について 資料2-2: 生活困窮者自立支援事業の実施状況について
		権利擁護事業・成年後見制度の利用促進	資料1-2: 令和4年度(前半) 武蔵野市成年後見制度利用促進事業について
		虐待防止の推進	
		見守り・孤立防止の推進	
		自殺対策の推進	資料5-2: 武蔵野市自殺総合対策計画(2019～2024年)の進捗状況について
		災害時における避難支援体制づくり等の推進	
誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり	重点的取組み4 人材の確保と育成に向けた取組み	福祉人材の確保及び育成	
		地域包括ケア推進人材育成センター(仮称)の設置	資料1-1: 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター事業について(令和4年度前半)
住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備	重点的取組み5 新しい介護・福祉サービスの整備	複合的なニーズに対応する新しい施設の検討	資料3: 武蔵野市立北町高齢者センターあり方懇談会について
		ダブルケア、トリプルケアへの支援や介護離職防止のための取組みの検討	
		桜堤地域における福祉サービス再編の検討	

■その他の項目について

資料4 : 障害者福祉センター改築 基本計画策定に関する進捗について

資料5-1 : 令和4年度事業の進捗(新型コロナウイルスワクチン接種事業について)

資料5-3 : 武蔵野市立保険センター増築及び複合施設整備基本計画【概要版】

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター事業について (令和 4 年度前半)

福祉サービスの拡充や地域福祉活動の推進に向け、専門職や地域の担い手も含めた福祉人材の育成と確保を目的に、「地域包括ケア人材育成センター」を平成 30 年 12 月 1 日に開設した。運営は公益財団法人武蔵野市福祉公社に委託している。

1 事業内容

人材の発掘・養成、質の向上、相談受付や情報提供までを一体的に行う総合的な支援を開始した。

第 3 期健康福祉総合計画に記載された「活かす」「育てる」「つなぐ」「支える」の 4 つの機能をもたせ、福祉サービス事業者及びその従事者への様々な支援を目的とした事業を順次実施していく。

①人材養成事業（活かす）：介護職員初任者研修、武蔵野市認定ヘルパー養成研修 等

ア) 介護職員初任者研修

令和 3 年度	5/31～8/31 (25 日間、130 時間) + 訪問実習 2 時間、修了者 11 人 (受講 11 人)
令和 4 年度	6/1～8/29 (25 日間、130 時間) + 訪問実習 2 時間、修了者 7 人 (受講 9 人)

イ) 初任者研修フォローアップミーティング

令和 3 年度	12/13 (月) 開催 参加者 11 人 「有資格者となってからの変化」「未就労者と着任者の情報交換」
令和 4 年度	12/12 (月) 開催予定

ウ) 認定ヘルパー養成研修

令和 3 年度	第 2 回：2/21, 24, 25 (3 日間 18 時間) + 訪問実習、修了者 13 人 (受講 15 人)
令和 4 年度	第 1 回：7/11、12、13、15、25、26、28、29 (8 日間 18 時間) + 訪問実習、修了者 3 人 (受講 5 人)

エ) 武蔵野市認定ヘルパーフォローアップ研修

令和 3 年度	第 1 回：10/12 (火) 受講者 26 人、「認定ヘルパーさんへのエール」 第 2 回：11/ 8～12 録画動画配信 受講者 (アンケート提出 32 人)、「認定ヘルパーさんへのエール」 第 3 回：12/ 8 (水) 受講者 16 人、「認定ヘルパーさんへのエール」
令和 4 年度	第 1 回：11/28 (月) 開催予定 「在宅介護・地域包括支援センターから見た認定ヘルパーさんの活躍」 第 2 回：12/6 (火) 開催予定 「在宅介護・地域包括支援センターから見た認定ヘルパーさんの活躍」

②研修相談事業（育てる）：技術研修、認知症支援研修、福祉従事者の悩み相談 等

ア) 技術研修

令和 3 年度	11/1～12/10 日オンライン配信 移乗・移動支援研修①「移乗の支援」 ②「歩行の支援」 ③「「誤嚥予防につながる姿勢調整 食事介助」 申込：53 事業所 視聴 206 人 再生回数：①317 人 ②214 人 ③211 人
令和 4 年度	福祉職のための医療的ケア ZOOM 開催 第 1 回：10/13 (木) 開催 参加者 25 人「基本的な人の体の構造と役割について 知っていますか？」 第 2 回：10/27 (木) 開催 参加者 35 人「介護職が対応可能な医療的行為 知っていますか？」 第 3 回：11/10 (木) 開催予定 「喀痰吸引等研修 第 3 号研修 知っていますか？」

イ) 武蔵野市認知症支援研修 (全 3 回)

令和 3 年度	12/13～1/21 オンライン配信 *第 3 回のみ Zoom 併用 申込：57 事業所 237 人 再生回数：①200 人 ②294 人 ③211 人 ①医療的アプローチ「認知症を来す疾患、症状と検査の特徴」
---------	--

	②心理的アプローチ「法律専門職による本人支援の実例」 ③実践的アプローチ「認知症相談を通して本人、家族への支援を考える」
令和4年度	11/1(火)～30 オンライン配信予定 ①医療的アプローチ「高齢者アルツハイマー型認知症と若年アルツハイマー型認知症」 ②心理的アプローチ「成年後見制度について知る ～認知症の方に寄り添う支援(意思決定支援)～」 ③実践的アプローチ「成年後見制度を活用するために ～関係者との連携を活かす～」

ウ) 介護従事者の悩み相談事業

令和3年度 (10/1～3/31)	14件	内容：利用者の感染症判明時の訪問について。オンライン研修の技術相談。有資格者の就労相談など
令和4年度 (4/1～9/31)	29件	内容：医療的ケア対応の事業所。詳細な条件付きの就労相談。喀痰吸引等研修の看護師指導料。フリーメールアドレスの誤登録について市への苦情。市の事業者支援の在り方についてなど

エ) 喀痰吸引等研修

令和3年度	基本研修：9/30(木)・10/1(金) 実地研修：12/28 全員修了。修了者5人 実地研修のみ：5/13日～令和4年1/28 12人修了
令和4年度	研修実施委員会：第1回7/21(木)開催 基本研修：8/23(火)・24(水) 実地研修：10/31 全員修了。修了者3人 実地研修のみ：9/30(金) 現在3人修了

オ) その他

◎初任者研修受講料返還制度

令和3年度	5人	令和4年度	3人(5人予定)
-------	----	-------	----------

◎特定研修受講奨励助成事業

令和3年度	2人(2人予定)	令和4年度	2人(2人予定)
-------	----------	-------	----------

③就職支援事業(つなぐ)：ホームページ・ツイッター等による情報提供、お仕事フェア、就職相談会等

	令和3年度	令和4年度
◎プロジェクト「若ば」	コロナ禍において6/18のみオンライン開催・11人参加	9/29(木)ZOOM開催9人参加、10/20(木)ZOOM開催12人参加
◎介護・福祉のお仕事フェア	コロナ禍において中止	コロナ禍において未定
◎潜在的有資格者復帰支援	介護・福祉事業所一覧冊子作製。 9,000部世帯配布。1,000部関係機関配布。	介護・福祉事業所一覧冊子更新予定
○潜在的有資格者復帰研修	なし	10/18(火)武蔵野市の高齢者及び障害者施策について講義。11/8(火)訪問実習予定
◎デジタルサイネージによる広報	10/1～3/31 継続中	4/1～9/30 継続中

④事業者・団体支援事業(支える)：管理者・経営者向け研修、事業所の求人案内等。

令和3年度	令和4年度
●管理者向け研修 アンガーマネジメントについて ①8/30(月) 「管理者のためのアンガーマネジメント ～自分の感情と向き合うスキルについて考える～」 会場開催+ライブ配信によるハイブリット形式 参加者・会場25人、オンライン56人、計81人 ②2/15(火) ZOOM開催 「リーダーのためのアンガーマネジメント活用法～事例を通し	●管理者向け研修 福祉リーダーについて ①2/7(火) ZOOM開催予定 ②2/14(火) ZOOM開催予定 ①②とも講師：久田 則夫氏(日本女子大学人間社会福祉学部教授)

て考える～」 参加者・会場 51 人 ①②とも講師：田辺 有理子氏（横浜市立大学看護学部）。	
--	--

2 その他

・ ホームページ <https://m-machigurumi.jp/>



・ ツイッター https://twitter.com/m_jinzai



令和4年度（前半） 武蔵野市成年後見制度利用促進事業について

1 武蔵野市成年後見利用支援センター（令和2年4月1日開設）事業

（1）普及・啓発事業

- ・ 市民講演会「わかりやすい成年後見制度のおはなし～いつまでも幸せに暮らすために～」開催

日時：令和4年9月23日（金・祝日）

場所：武蔵野スイングホール11階 レインボーサロン

講師：みたか司法書士事務所 司法書士 稲岡秀之

参加数：35名（定員40名）

- ・ 老いじたく講座等

テーマ：老いじたくの基礎知識

期 日	時 間	会 場
4月22日（金）	10:00～11:30	高齢者総合センター4階研修室
5月26日（木）	17:00～18:30	福祉公社 1階会議室
7月25日（月）	10:30～12:00	福祉公社 1階会議室
8月19日（金）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
9月22日（木）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
11月24日（木）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
12月23日（金）	13:30～15:00	市民会館 第2学習室
1月24日（火）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
3月24日（金）	10:00～11:30	高齢者総合センター4階研修室

テーマ：成年後見制度について

期 日	時 間	会 場
5月11日（水）	10:30～12:00	福祉公社 1階会議室
6月24日（金）	13:30～15:00	市民会館 第2学習室
7月8日（金）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
9月9日（金）	10:30～12:00	福祉公社 1階会議室
10月24日（月）	10:00～11:30	高齢者総合センター4階研修室
11月11日（金）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
1月6日（金）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
2月24日（金）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
3月9日（木）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室

テーマ：エンディングノート書き方講座

期 日	時 間	会 場
4月8日（金）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
6月10日（金）	13:30～15:00	市民会館第2学習室
8月5日（金）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室
10月7日（金）	17:00～18:30	福祉公社 1階会議室
12月9日（金）	13:30～15:00	市民会館第2学習室
2月9日（木）	13:30～15:00	福祉公社 1階会議室

(2) 相談事業 (令和4年4月～9月)

(単位: 件)

月	相談 実件数	内容 (重複有)				法律 相談	令和4年度 計	令和3年度 計
		制度 説明	親族に対 する申立 支援	後見人 等への 支援	その他			
4	15	4	9	1	5	0	15	16
5	9	6	4	0	1	6	15	18
6	14	12	6	0	2	6	20	20
7	11	6	6	4	5	5	16	25
8	7	5	7	4	4	3	10	16
9	17	13	10	5	9	5	22	25
合計	73	46	42	14	26	25	98	120

(3) 担い手の育成

- ・ 令和4年度7市合同市民後見人養成講習:

オンラインないし座学。1～2月に開催予定(7市=三鷹市、小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、西東京市、武蔵野市)

2 武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会の開催

- ・ 第1回: 令和4年10月21日(金) 15:00～

オンライン、対面併用(武蔵野市役所813会議室)

◎ 議題・報告

- (1) 令和3年度 武蔵野市成年後見制度利用促進事業・事業報告について
- (2) 令和4年度 武蔵野市成年後見制度利用促進事業・事業計画について
- (3) 利益相反事例について
- (4) 国・都・裁判所からの情報提供等

武蔵野市シニア支え合いポイント制度について (令和3年度～4年度)

1 令和3年度分ポイント 交換実績

交換内容	交換件数 (件)	交換ポイント数
市民社協への寄付	15	350
市内産野菜等引換券	7	230
人間ドッグ利用助成券	0	0
図書カード	16	420
QUO カード	25	690
子ども商品券	0	0
交換なし (ポイントの繰り越しのみ)	58	0
合計	121	1,690

2 協力施設・団体

32 施設・団体 (令和4年11月1日現在)

3 令和4年度説明会参加者及びサポーター登録者数

令和4年度 説明会の開催

- ・開催回数 6回 (令和4年4月～令和4年10月)
- ・参加者数 合計19名 (うちサポーター登録者数16名)
- ・累計数 → 説明会参加者数:538名 サポーター登録者数 469名※ (令和4年11月1日現在)

4 シニア支え合いサポーター活動実績

令和3年度

実施日数 (日)	延人数(人)	付与ポイント
838	1,209	2,153

令和4年度 (令和4年4月～令和4年9月)

実施日数 (日)	延人数(人)	付与ポイント
503	813	1548

5 令和4年度説明会

毎月開催の説明会

	日付	時間	会場	参加者 (名)	登録者 (名)
1	4月22日(金)	午後2時～3時	武蔵野スイング スカイルーム1	3	3
2	5月25日(水)	午前10時～11時	武蔵野市役所 812 会議室	5	4
3	6月30日(木)	午後2時～3時	武蔵野商工会議所 第1会議室	7	4
4	7月27日(水)	午後2時～3時	武蔵野スイング スカイルーム1	2	2
5	9月16日(金)	午前10時～11時	武蔵野商工会議所 第1会議室	1	1
6	10月25日(火)	午後2時～3時	Zoom 又は武蔵野市民社会福祉協議会1階会議室	1	1
7	11月30日(水)	午後2時～3時	武蔵野スイング スカイルーム1		
8	12月8日(木)	午前10時～11時	関前コミュニティセンター		
9	1月25日(水)	午後2時～3時	武蔵野商工会議所 第1会議室		
10	3月9日(木)	午前10時～11時	プレイス フォーラム		
			昨年度説明会参加者が今年度登録		1
				19	16

6 協力施設・団体に係るコロナ禍における取り組み

新規登録者の受け入れ状況やコロナ禍における活動内容の把握のため、昨年度に引き続き協力施設・団体にアンケート調査を行った。現状では新規登録者の受け入れ可能施設が14団体、既存登録者のみの受け入れを含めると21施設が受け入れ可能な状態(7月30日現在)となっており、新型コロナウイルスの影響はあるものの徐々に受け入れ施設数が増えている。

7 令和4年度分ポイント 交換期間

	期間	窓口
令和4年度 付与分	令和5年 3月1日～31日	① 武蔵野市民社会福祉協議会ボランティアセンター武蔵野 ② 武蔵野市地域支援課 ③ 郵送受付

武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業
～国の定める8事業(ア)～(ク)への取り組みについて～

令和4年11月17日
健康福祉総合計画・地域共生社会推進会議
資料1-4 地域支援課

8事業	令和元年度の実績	令和2年度の実績	令和3年度の実績	令和4年度上半期の実績
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	<ul style="list-style-type: none"> 既存資料の活用 リハビリテーション機関名簿のWEB化 WEBマップ導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 既存資料の活用 リハビリテーション機関名簿のWEB化(更新) 医療・介護マップ(WEB版)の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 既存資料の活用 リハビリテーション機関名簿の更新 医療・介護マップ(WEB版)の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 既存資料の活用 リハビリテーション機関名簿の更新 医療・介護マップ(WEB版)の活用
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催(3回開催) 5部会で活動 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催(2回開催) 5部会で活動 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催 5部会で活動 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催 5部会で活動
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	<ul style="list-style-type: none"> 入院時の病院への情報提供の仕方について、「入院時情報連携シート」を作成し活用 退院時の情報提供について看護サマリーの活用状況調査 身寄りのない入院患者の意思確認方法について検討 認知症高齢者を支援するための医療と介護のチームによる連携の体制づくりについて検討 	<ul style="list-style-type: none"> 「入院時情報連携シート」の活用状況調査 身寄りのない入院患者の対応について事例を通して検討 コロナ禍での入退院時の支援について意見交換 今年度の認知症初期集中支援事業4事例を対象とした事例研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「入院時情報連携シート」の活用と見直し コロナ禍での入退院時の支援について意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 「入院時情報連携シート」の活用と見直し コロナ禍での入退院時の支援について意見交換
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ICT連携の現状把握 ICT連携登録数 605件 医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの開設(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でのICT連携の状況把握 ICT連携登録数 637件 医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの活用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でのICT連携の状況把握 ICT連携登録数 658件 医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの活用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でのICT連携の状況把握 ICT連携登録数 670件(9月末現在) 医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの活用状況の確認
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 相談実績 203件 医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 相談実績 276件 医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 相談実績 190件 医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 相談実績 75件(9月末現在) 医師会の窓口として(ア)～(ク)8事業へ参加、各部会への参加
(カ) 医療・介護関係者の研修	<ul style="list-style-type: none"> 「ACP」をテーマに事前研修と合同グループワークを実施 ①事前研修(講演会) 147名参加 ②合同グループワーク 77名参加 他の職種との連携の広がり、テーマに対する知識の深まりの確認のため、3か月後にアンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「ACP」をテーマに研修会(オンライン)を実施 110名参加 コロナ禍のため、合同グループワークは実施せず 	<ul style="list-style-type: none"> 「新型コロナウイルス感染症における在宅療養支援と在宅医療介護連携」をテーマにオンライン研修実施。198アカウント、291名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 「在宅医療時におけるトラブル(危機管理)ハラスメント」をテーマにオンライン研修実施予定
(キ) 地域住民への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの普及啓発について検討 ①市民向けセミナー開催 2月15日(土) スイグホール 165名参加 「住み慣れた地域で、安心して医療と介護を受けるために～在宅への復帰を支援する『地域包括ケア病床』～」 「ケアリンピック武蔵野2019」704名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの普及啓発について検討 ①市民向けセミナー開催(オンライン) 2月19日(金)～25日(木) 「住み慣れた地域で、安心して医療と介護を受けるために」映画「ピア～まちをつなぐもの～」の配信 118名参加 ②パンフレットの配布 「ケアリンピック武蔵野」はコロナ禍のため、中止 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの普及啓発について検討 ①市民向けセミナー(オンライン) 2月18日(金)～3月3日(木) 「ピア～まちをつなぐもの～」「ケアニン～あなたでよかった～」の配信 104名参加 ②パンフレットの改定作業 「ケアリンピック武蔵野2021」オンラインにて開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの普及啓発について検討 ①市民向けセミナー内容検討 ②啓発方法の検討
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	<ul style="list-style-type: none"> 北多摩南部保健医療圏による情報共有 リハビリテーション機関ナビの更新準備 東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 北多摩南部保健医療圏による情報共有 リハビリテーション機関名簿のWEB化(更新)(再掲) 東京都在宅療養担当者連絡会(書面開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 北多摩南部保健医療圏による情報共有 リハビリテーション機関ナビの更新 東京都在宅療養担当者連絡会(中止)資料送付による、情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 北多摩南部保健医療圏による情報共有 リハビリテーション機関ナビの更新 東京都在宅療養担当者連絡会(中止)資料送付による、情報共有

福祉総合相談窓口について

1 令和4年度の現状

- 令和3年4月 生活福祉課生活相談係に窓口設置。令和3年度は延582件の相談支援をおこなった。生活保護、生活困窮者自立支援事業の相談窓口と同じ窓口で福祉総合相談を行っており、職員は兼務となっているが、令和4年度から専任の福祉相談コーディネーターを1名増員し、増えてきた継続ケースの支援や他機関との調整、ひきこもり支援事業に専念できるようにした。
- ひきこもりや世帯で複数の課題を抱えているケースは、生活習慣病など医療につながなければならないケースも多く、情報収集と整理、アセスメントを行い、支援方針を明確にするまでに時間を要する。担当課につなげるまでに、福祉総合相談窓口が年単位で関わり続けなければいけないケースもある。
- 総合支援調整会議を令和3年度は8回行い、庁内の関係各課と事例の共有や連携方法の確認を行った。令和4年度からは、市民社協、福祉公社、ひきこもりサポート事業それいゆなど、外部の機関を入れた会議とし、地域の福祉課題について検討。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年同時期
相談件数(のべ)	56	67	83	39	50	68							363	278
うち来所	5	9	16	7	12	7							56	21
電話	28	42	44	24	27	36							201	192
訪問	3	1	1	3	1	5							14	5
その他(メール等)	20	15	22	5	10	20							92	60
新規相談(実人数)	8	10	9	2	10	20							59	55
うち来所	2	3	6	0	5	4							20	9
電話	5	7	3	2	5	16							38	45
訪問	0	0	0	0	0	0							0	0
その他(メール等)	1	0	0	0	0	0							1	1

2 ひきこもり支援事業の拡充

- ひきこもり支援については、当事者、家族が参加しやすいよう、従来のひきこもりサポート事業それいゆ(NPO文化協同ネットワークに委託)の「家族セミナー」を充実させるとともに、新たに次の事業に取り組む。

① 多摩島しょ地域広域連携事業

令和2年度から清瀬市、国立市が一般社団法人ひきこもりUX会議と行ってきた「ひきこもり女子会&ママ会」を開催。令和4年度から調布市、文京区、豊島区、本市が参入。

ひきこもり支援イベントは男性参加者が多く、参加できない女性がいることに着目し、年齢を区切らない、女性だけで集まれる場を提供。また地元では他人の目が気になって参加しにくいという声もあるため、広域で行うことで既存の人間関係にとらわれることなく参加できる場を作っている。

② 市民啓発講演会

当事者とその家族がひきこもりは「相談してよい悩み」と知ること、ひきこもりは誰にでも起こりうることで、地域・社会が支えていく課題であると知ることなど、地域で生活する方がひきこもりに対して正しい理解を持つことを目的として講演会を開催。

- ・令和4年12月17日(土) 「経験者が語るひきこもり～解決ではなく共に在ること～」
(講師：ひきこもりUX会議代表理事 林恭子氏)

生活困窮者自立支援事業の実施状況について

1 生活困窮者総合相談窓口実績 ※令和4年度については9月末現在

平成27年度より生活困窮者総合相談窓口を設置。

相談件数は令和2年度をピークに減少傾向が見られるが、新型コロナウイルス等の影響もあり引き続き多い傾向にある。生活困窮者総合相談窓口は、これまでの周知により、一定の認知を得てきたが、今年度は10月に周知チラシの全戸配布を実施。

相談件数

(単位：件)

年度	29	30	R1	R2	R3	R4 9月末
生活困窮相談	313	377	367	1,341	894	360
生活保護相談	563	631	626	660	619	424
合計	876	1,008	993	2,001	1,513	784

注) 相談内容から生活困窮相談、生活保護相談の双方に計上したものあり。

2 法内事業の利用件数等実績 ※令和4年度については9月末現在

(1) 自立相談支援事業(委託先 公益財団法人武蔵野市福祉公社)

複合的課題を抱える傾向にある生活困窮者に対し、課題等の解決に向けて本人の状況に応じた包括的な支援を実施。

支援実績

(単位：件)

年度	29	30	R1	R2	R3	R4 9月末
新規利用件数	110	114	167	1,358	779	267

(2) 住居確保給付金支給事業

離職等による住居の喪失を防止するため、家賃相当額(上限額あり)の給付金を支給。

令和2年度より年齢要件の緩和や、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた離職要件等の緩和、支給期間の延長等が行われ、申請者が大きく増加。令和3年度以降、特例再支給申請期間の延長が繰り返され、令和4年12月末まで延長。

支援実績

(単位：件)

年度	29	30	R1	R2	R3	R4 9月末
新規利用件数	15	24	31	450	250	69

(3) 就労準備支援事業(委託先 社会福祉法人武蔵野)

直ちに就労が困難な生活困窮者に対し、一般就労の前段階としての社会的能力の習得や就職活動に向けた知識の習得等の支援を実施。

支援実績

(単位：人)

年度	29	30	R1	R2	R3	R4 9月末
実利用者数	17	9	9	6	6	5

**(4) 学習支援事業（〔少人数型〕公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター
〔サポート型〕株式会社トライグループ）**

貧困の連鎖の防止を目的に、基礎学力の向上を目指した補習教室を実施。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により6月から教室を実施。令和3年度は終了時間の繰り上げあり。

支援実績（少人数型） （単位：人）

年 度	29	30	R1	R2	R3	R4 9月末
実利用者数	10	35	27	18	15	9

支援実績（サポート型） （単位：人）

年 度	R1	R2	R3	R4 9月末
実利用者数	11	14	11	11

(5) 家計改善支援事業

生活困窮者が自身で家計の把握を行い、その改善に取り組む力を育てる支援。

支援実績 （単位：人）

年 度	30	R1	R2	R3	R4 9月末
実利用者数	5	7	4	12	10

3 広報・周知、連携について

(1) 広報、周知

- ①市報掲載（4月1日号、4月15日号、6月1日号）
- ②「啓発用カード」を関係各課・関係施設へ配布（4月・7月）
- ③4月、7月 国際交流協会 MIA カレンダー（生活困窮に関する窓口）
- ④5月 学習支援ちらしを青少協へ配布
- ⑤6月 民生委員生活福祉部会研修
- ⑥8月、10月 障害者福祉課 つながり（身体・知的対象）（相談窓口）
- ⑦事業周知チラシ全戸配布（10月）

(2) 連携

- ①庁内連携 生活困窮者自立支援庁内連絡会議・実務担当者会議（10/14）
ひとり親家庭訪問型学習・生活支援事業選定会議（5/20）
- ②庁外連携 見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会（11/7）

4 生活困窮者自立支援金支給事業

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯を対象に、令和3年7月より支給期間3か月間、6万～10万円/月（世帯人数により異なる）の支援金を支給。12月1日より再支給受付開始。申請期限は令和4年12月末まで延長。

支援実績 (単位：件)

年 度	R3	R4 9月末
支給決定件数	249	151
うち再支給	78	81

5 市独自事業

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で生活に困窮する世帯について、武蔵野市独自の支援策として、当該世帯の生計中心者が常用就職等をした際の初回給与入金までの生活安定及び就労の定着を目的とした「特別就職支援金」と、生活に困窮する世帯が現在の住居を喪失することを防ぐための「住居契約更新料給付金」を令和3年10月より実施。

(1) 生活困窮者特別就職支援金支給事業

主たる生計維持者の求職意欲を喚起し、常用就職した場合に給与の入金までの生活の安定及び就労定着のための一助として、特別就職支援金を支給。対象は、住居確保給付金または生活困窮者自立支援金を受給中の者で初回支援金5万円を支給後、6カ月就労継続時に、さらに5万円を1回のみ支給。

支援実績 (単位：件)

年 度		R3	R4 9月末
支給決定件数	初回	9	20
	継続	—	5

(2) 生活困窮者住居契約更新料給付金支給事業

経済的に困窮し、住居喪失の恐れのある住居確保給付金受給世帯に対し、賃貸借契約の更新にかかる費用の一部を支給。支給決定された住居確保給付金の月額又は更新料のいずれか少ない額を支給。支給上限あり。

支援実績 (単位：件)

年 度	R3	R4 9月末
支給決定件数	26	6

武蔵野市立北町高齢者センターあり方懇談会等について

1 武蔵野市立北町高齢者センターあり方懇談会について

(1) 設置目的

北町高齢者センターは、昭和62年10月にデイサービスと高齢者専用住宅を併設する施設として開設されたが、施設の老朽化や利用者像の変容、子育て支援施設の併設による機能の付加など、開設当初と様相が変化している。これらの状況を踏まえ、今後のあり方等について意見を聴取するため、懇談会を設置する。

(2) 検討事項

- ① 高齢者福祉サービスにおける北町高齢者センターの役割
- ② コミュニティケアサロン（デイサービス）の現状と課題
- ③ 小規模サービスハウスエリアに関すること

(3) 委員名簿

	委員氏名	所属	区分
1	佐藤 清佳	武蔵野市民生児童委員協議会 第二地区 会長	地域福祉関係者
2	田村 晃一	社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会 事務局長	地域福祉関係者
3	廣瀬 幸子	武蔵野市立北町高齢者センター ボランティア	施設ボランティア
4	渡邊 浩文	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授	学識経験者
5	久留 善武	一般社団法人シルバーサービス振興会 事務局長	学識経験者
6	伊藤 朝子	公益財団法人武蔵野市福祉公社 常務理事	公益財団法人武蔵野市福祉公社職員
7	柳野 聡	武蔵野市立北町高齢者センター 職員	公益財団法人武蔵野市福祉公社職員
8	石川 久雄	武蔵野市子ども家庭部子ども家庭支援センター 担当課長	市職員
9	山田 剛	武蔵野市健康福祉部長	市職員

(4) 設置期間

令和5年3月31日まで

(5) 開催予定

令和4年9月28日(水)	第1回懇談会
10月26日(水)	第2回懇談会
11月22日(火)	第3回懇談会
12月16日(金)	第4回懇談会 (ボランティア意見交換会)
令和5年1月	第5回懇談会
2月	厚生委員会行政報告、第6回懇談会
4月以降	高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定委員会で検討

2 健康長寿のまち武蔵野推進月間～楽しく！元気に！長生き！！～

昨年度まで、9月を「認知症を知る月間」として、認知症に対する正しい理解の普及・啓発等を行ってきた。令和4年度から「健康長寿のまち武蔵野推進月間」とし、高齢者のフレイルを予防するための健康づくりに関する普及・啓発等の活動と一体的に、講演会や体操講座等を実施した（別添資料のとおり）。

障害者福祉センター改築 基本計画策定に関する進捗について

1 計画策定支援事業者

- (1) 指名型プロポーザル（5社参加）により、株式会社翔設計を優先交渉権者に指名。
- (2) 令和4年7月より基本計画策定作業に着手。

2 基本計画策定における論点

- (1) 現在、実施している各種事業を安全に継続できる計画である事。
- (2) 改築に合わせて障害者福祉センターの機能の向上を図る事
- (3) 改築に伴う各機能の配置等の検討
- (4) 概算工事費

3 今後のスケジュールについて

令和4年12月	市議会において、基本計画（案）の行政報告
令和5年1月	パブリックコメント、説明会の実施
3月	基本計画の公表
4月～翌3月	基本設計の実施
令和6年4月～ 令和7年12月	実施設計の実施
令和8年4月～ 令和10年3月	現建物の解体・新センターの建設
令和10年4月	新センター事業開始

※現センターの解体・新センターの建設期間は、旧中町自転車保管場所（中町2丁目）の仮設建物において事業を継続実施

令和4年度事業の進捗（健康課）

1 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

(1) 12歳以上の市民接種の状況について（10月24日（月）午前9時時点）

	全対象者（12歳以上）接種率	高齢者（65歳以上）接種率
1回目	88.2%	95.1%
2回目	87.8%	94.6%
3回目	72.6%	89.9%
4回目	30.9%	79.2%

※令和4年9月から開始されたオミクロン株対応2価ワクチン接種者を含む

※59歳以下で基礎疾患ない方等への4回目接種は、令和4年9月から開始された

(2) オミクロン株対応2価ワクチンによる追加接種について

- ①接種対象者 既に2回以上ワクチンを接種した12歳以上の方
- ②接種回数 現時点では、1人1回（BA.1対応型、BA.4-5対応型を問わない）
- ③接種間隔 最終接種から最短3か月（10月21日より最短5か月から変更された）
- ④使用ワクチン ファイザー社製（12歳以上）、モデルナ社製（18歳以上）
- ⑤予約受付 現在、8月末までに最終接種をした方から予約受付中
- ⑥接種会場 集団接種：市内7会場（11月中） 個別接種：市内約60医療機関

(3) 小児（5歳～11歳）及び乳幼児（生後6か月～4歳）へのワクチン接種について

①小児（5歳～11歳）への接種

接種率（10月24日（月）時点）1回目：22.0%、2回目：21.4%、3回目：4.3%

※接種は市内7医療機関で実施している他、3回目のみ集団接種を実施

②乳幼児（生後6か月～4歳）への接種

国は10月下旬からの接種開始を決定。本市では全対象者（約5,000人）に11月4日接種券を一斉送付。個別接種を実施する一部の医療機関で11月上旬以降、接種開始

2 生きることの支援拡充について（自殺対策）

平成28年の自殺対策基本法の改正に伴い、平成31年3月に「武蔵野市自殺総合対策計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」ことを基本理念に、地域と連携・協働のもとに生きることの支援を推進している。武蔵野市の“自殺者の現況”と“計画の進捗”は、資料5-2『武蔵野市自殺総合対策計画（2019～2024年）の進捗状況について』のとおりである。

3 保健センター増築及び複合施設整備基本計画について

計画の概要については、資料5-3『武蔵野市立保健センター増築及び複合施設整備基本計画【概要版】』のとおりである。

スケジュール

令和4年度：基本計画策定、基本設計着手

令和5年度から令和10年度まで（予定）：実施設計、基礎等撤去工事、増築工事
大規模改修工事

武蔵野市自殺総合対策計画（2019～2024年）の進捗状況について

1. 武蔵野市の自殺者の現況

本市の令和3年の自殺者数は17人で、前年比15人減、過去5年間で2番目に少ない人数となった（平成29年28人、平成30年28人、令和元年12人、令和2年32人）。

令和3年：月別自殺者数（確定値）

	自殺者数（人）												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全国	1,755	1,700	2,012	1,854	1,865	1,859	1,729	1,735	1,660	1,667	1,604	1,567	21,007
東京都	188	192	193	194	195	217	189	197	168	177	195	172	2,277
武蔵野市	0	3	0	2	2	2	3	1	0	0	3	1	17

【出典】厚生労働省自殺対策推進室：自殺の統計：地域における自殺の基礎資料（※発見日・住居地）

※国の状況

令和3年の全国の自殺者数（確定値）が21,007人となり、減少に転じた（平成29年：21,321人、平成30年：20,840人、令和元年：20,169人、令和2年：21,081人）。

2. 計画の進捗状況

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、こころの健康づくり庁内連携会議を延期し、各課に対して、計画に係る各課事業の取組状況及び新型コロナウイルス感染症の影響による変更点等の調査を実施、見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会（書面開催）にて報告を行った。

政府は、令和4年10月14日に新たな「自殺総合対策大綱」を閣議決定した。新たな大綱の内容を踏まえた市の自殺総合対策計画の改定を今後検討していく。

<施策ごとの主な事業の進捗状況（抜粋）>

● 自殺対策を支える人材の育成

職員向け研修として、令和3年度は11月に「こころといのちの基礎研修」を開催し、97名（前年比33名増）の参加があった。また、外部機関が実施するスキルアップ研修に職員2名が参加した。令和4年度は11月18日・22日に同研修を実施予定。（動画配信も併用）

また、市民向け講座として、令和3年度は10月期・3月期の2回の講座をWEBで動画配信した。

● 相談支援事業の充実

ICT（検索連動型エリア広告）を活用した自殺対策を、児童及び生徒の夏休みシーズンに合わせ、7月26日より開始した。

市民こころの健康支援事業（市民こころの健康相談室）については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、メンタルヘルスの悩みを抱える市民の増加が予想されたため、令和2年5月26日より毎週火曜日を追加実施しており、件数は増加。令和元年度は162件、令和2年度は262件、令和3年度は257件、令和4年度上半期（4～9月）は150件（うちコロナ関連の件数は3件）

※他、母子、教育、高齢関連の相談事業等においてもコロナ対策を実施したうえで相談体制を整えている。通常の相談に加え、コロナ関連の相談も入ってきている。

● 生きやすさを育み寄り添う支援

市民課の協力を得て死亡届を提出された方にグリーフケアの支援に関する情報提供を実施している。

● 市民への周知・啓発

市ホームページ上の自殺対策関連の情報を整理・拡充し、リニューアル更新を図った。

武蔵野市立保健センター増築及び複合施設整備基本計画【概要版】

《1》 基本計画策定の目的

昭和62年の開設から34年が経過する保健センターは、排水管からの漏水や空調設備の不具合など施設設備の老朽化が顕著となっています。公衆衛生の拠点施設であり、早期に大規模改修を行う必要がありますが、保健衛生や母子保健事業（乳幼児健康診査など）等の機能を休止して大規模改修を行うことができないため、改修工事をどのように行うかが喫緊の課題でした。

また開設以降、法律の改正などにより保健所から事業が移管され、保健センターの担う役割が増加するなか、昨今の新型コロナウイルス感染症への対応では、保健センターのスペース不足のため市役所への機能の分散配置など、事業を進めるうえで支障をきたしており、施設面積を拡充する必要性が生じています。さらに保健センターが担う母子保健事業との親和性が高い子ども子育て家庭への支援に関するこれまでの課題から、妊娠期から切れ目のない包括的な支援を実現する複合施設の必要性の検討が進められました。

そこで、大規模改修により保健センターの機能を休止しないために増築し、増築部分に機能を一時移転後、既存建物の大規模改修を行い、改修工事後の既存建物と一体的な利活用を行うことで、施設面積の拡充と保健衛生機能の充実を図ったうえで、子どもと子育て家庭への支援施設を含む複合施設として整備を行います。

本計画は、保健センターの大規模改修を行うための様々な手法の検討を踏まえ、施設の基本理念や基本方針、重点整備事項、施設整備の考え方を明確にすることを目的として策定するものです。

～ 保健センターとは ～	
保健センターは、市民の皆さんが健康な市民生活を送れるよう総合的な健康づくりを推進する保健衛生の拠点施設です。健（検）診や母子保健事業、健康体操・講座、健康相談などで利用されています。	
保健センターが担う主な機能	新型コロナ対応で新たに必要となった機能
<ul style="list-style-type: none"> 健康増進（健康相談、保健指導など） 母子保健（妊婦面接、乳幼児健康診査など） 感染症対策（予防接種、医療体制調整など） 健（検）診（がん検診、人間ドックなど） 健康づくり（健康づくり、介護予防など） 臨床検査（検体検査・分析など） など 	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種会場、ワクチン・資器材保管庫 感染症対策衛生用品の備蓄 感染症に関する情報発信 市内各師会、医療関係機関との連携 医療検査(PCR検査等)体制の調整整備 感染防止対策徹底による健（検）診体制 など
保健センター写真	保健センター位置図
	

《2》 保健センター機能充実の検討

「人生80年時代」といわれていた昭和62（1987）年に開設された保健センターは、時代と共に役割が増加し、また、市民の健康に対して、世代ごとの生活習慣に合わせたオールライフステージに応じたきめ細かな対応など、今後、期待される役割も増加しています。

そこで、令和4年4月に保健センターの機能充実について、地域における保健医療、公衆衛生、母子保健・子育て支援等の各専門家に意見を聴取し、助言を求めため「武蔵野市立保健センター機能充実検討有識者会議」を設置しました。会議の中で、「人生100年時代」といわれ、健康寿命の延伸と健康格差の是正に重きが置かれるようになったこと、また、毎年140万人前後の方が亡くなり、出生数が80万人前後という少子高齢多死社会だからこそ、子どもたちを大切に育てることの重要性は一層増しているという認識が示されました。さらに、こども家庭庁が設置され、こども家庭センターの設置が努力義務となること、首都直下地震や新たな感染症への備えをする必要性などの認識も共有されました。

こうした状況を十分に把握したうえで、保健センターが、市民のオールライフステージにおける健康増進に対するニーズに応えられる保健衛生拠点、また妊娠期から切れ目のない支援の拠点、災害時医療・感染症対策拠点として、デジタル社会に対応するなど未来を見据えた施設整備がされることを期待すると有識者から提言が報告されました。

《3》 子どもと子育て家庭への支援施設整備の検討

平成27～30年度の庁内検討において、子どもと子育て家庭への支援について、関係機関の連携に課題があり、支援情報の共有・引継ぎが難しいこと、子どもに関する相談先が複数に分かれており市民にとってわかりづらいこと等の課題があげられました。

令和2年度の庁内検討を経て、令和3年5月に子どもと子育て家庭への望ましい支援のあり方及び新たな複合施設の必要性等の検討を行うため、「子どもと子育て家庭への支援のあり方検討有識者会議」を設置しました。会議では、複合化によるメリットと複合施設の必要性が認められ、また、組織的に縦割りになることなく、各機関が目的を共有し、連携することで機能の複合化が十分効果を発揮するとの指摘がありました。

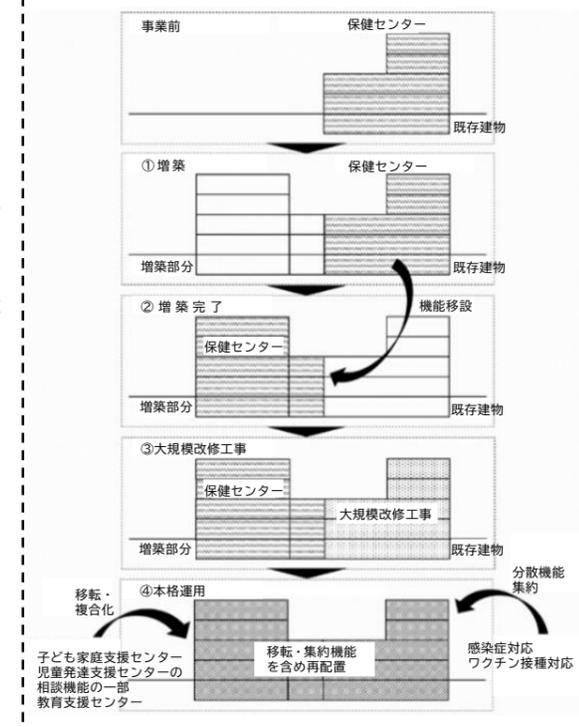
このほか、不登校支援施設（チャレンジルーム）が大野田小学校内にあることが課題としてあるなか、子育て世代包括支援センター、教育支援センター（不登校支援施設含む）、児童発達支援センターの療育相談機能の一部を複合化する計画としました。

《4》 保健センター増築及び複合施設整備の手順

- ①増築工事：隣接地において、増築工事を行う。
- ②増築完了後・暫定運用：増築工事完了後、増築部分へ保健センター機能を移設し、暫定運用を行う。
- ③大規模改修工事：既存建物の大規模改修工事を行う。
- ④本格運用：大規模改修工事完了後、増築部分と一体的な利活用を行う。

【手順イメージ】

形状、階数等はイメージであり、今後基本設計において決定します。



武蔵野市立保健センター増築及び複合施設整備基本計画【概要版】

《5》 保健センター増築及び複合施設整備の基本理念と基本方針

基本理念

全世代の市民の心と体の健康づくりを総合的に支援する拠点

基本方針 1 『人生100年時代を支援する』

- 人生100年時代を迎え、健康を保ち日常生活を送れるよう、市民の健康維持に向けた取組みの支援
- 一次予防（生活習慣改善）、二次予防（健康診査）の連携強化及び推進
- 特定健診やがん検診の受診しやすい環境の整備
- 地域医療機関の支援と連携強化の推進
- 市民の健康づくりへの関心を高め、主体的な健康づくりに向けた情報提供を行う

基本方針 3 『妊娠期から切れ目なく子どもと子育て家庭への支援を行う総合拠点』

- 全ての子どもと子育て家庭に対する包括的な支援
- 母子保健と子育て支援の連携による予防を重視した支援
- 相談機能の集約による分かりやすい総合相談機能の設置
- 支援サービスや地域資源に関する総合的な情報発信
- 既存のサービスに限定されない、多様なニーズに対する個別の相談支援
- 地域の連携拠点として、地域の支援者に対するサポート、人材育成の推進及び支援者同士の顔の見える関係性の構築を行う

基本方針 2 『健康危機管理対策を推進する』

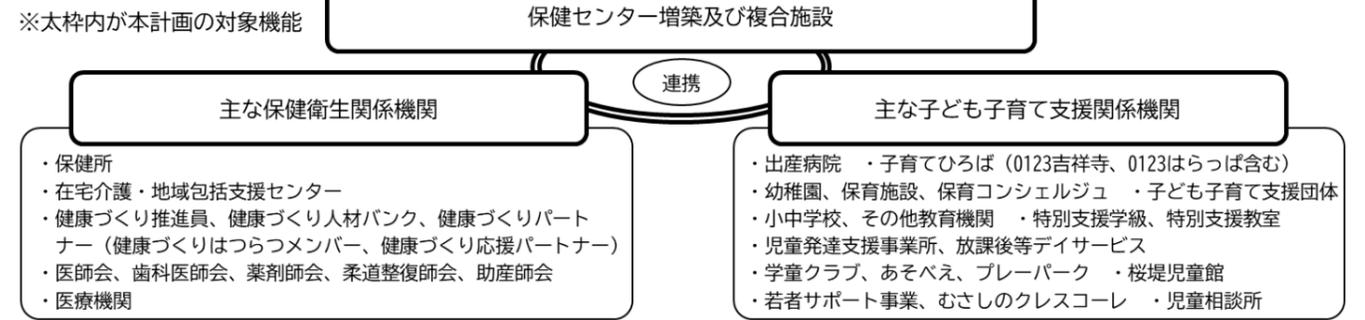
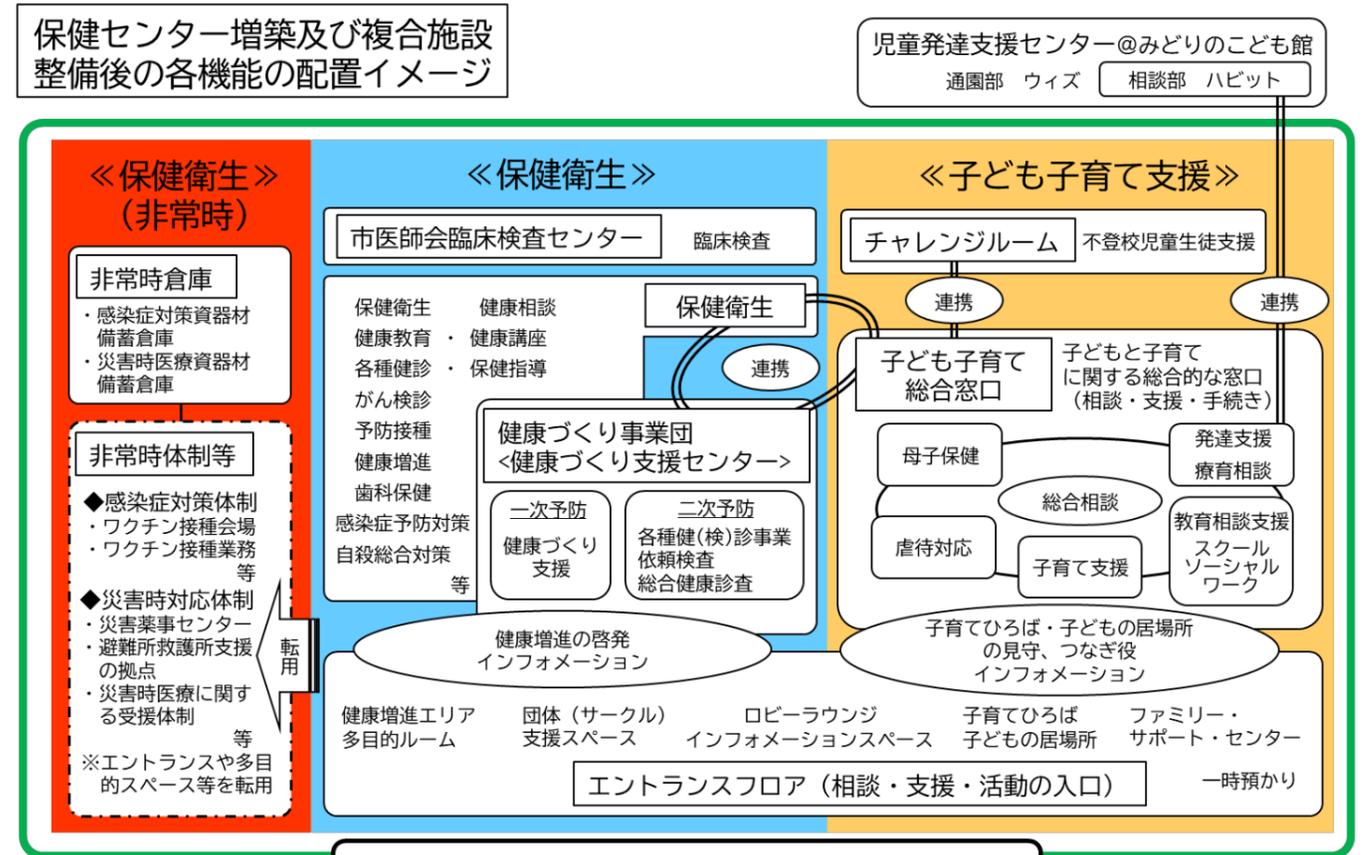
- 新たな感染症への備えと臨機応変に対応できる環境・機能の整備
- ワクチン接種を想定した施設環境の確保
- 地域医療と連携した災害時医療体制の推進と受援体制の整備

基本方針 4 『地域で育ち、地域で育てる』

- 誰でも来られるオープンな居場所
- 子どもと子育て家庭のための日常的な交流の場
- 次世代の親となる世代が子育てに触れることのできる場
- 当事者や利用者の参画による子どもと子育て家庭への支援
- 地域のカやアイデアを活用するための場づくり

《6》 保健センター増築及び複合施設における機能の配置イメージ

保健センター増築及び複合施設整備後は、現体制で保健センター、子ども家庭支援センター、児童発達支援センター及び教育支援センターの4つに分かれている主な機能を下図のようなつながりで配置します。



《7》 スケジュール

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
○基本計画策定 ○基本・実施設計 ○増築工事 ○大規模改修工事	基本計画(素案)策定	基本計画(案)策定 パブコメ 近隣説明会 市民説明会	基本計画策定 パブコメ 近隣説明会 市民説明会	基本設計 実施設計	実施設計	増築工事	保健センター 暫定利用開始	複合施設 供用開始
○基礎等撤去 (旧中央図書館) ・実施設計 ・基礎等撤去工事				実施設計	撤去工事			

